

令和3年12月18日

公民館運営審議委員 江口 建之

東京都公民館連絡協議会・委員部会第1回研修会 オンライン参加報告

1. 日時： 令和3年12月15日 14:00-16:00
2. 会場： Zoom 参加
3. 講師： 小金井市公運審委員 菅沼 七三雄 氏

菅沼講師は小平隣接小金井市で長年公民館活動に参画され、3期前に我々小平市公運審委員が見学に行ったこともある非常にユニークな貫井北センター（公民館・図書館を一体化した施設）企画・開設に関与された経験なども講演して頂けることを期待し参加した。

公民館は社会教育実践の場として、学びをベースに戦後幾多の先達の労苦・熱意を支えに地域づくりを行う地元住民のための拠点として発展してきた。一方時代の流れと共に変化する地元住民のニーズに対応し活動の仕組み、考え方など新たな着地点を見つけることが大切であると力説される講師の手順・実績には共感するものが多かった。たとえば

- ① 早い段階からの企画実行委員制度導入を図るも 更に 高度な
- ② 準備会方式（公募市民・企画実行委員・職員）への切り替え
- ③ シルバー大学（ 現在市民アカデミーと改称）創設
- ④ 貫井北センター設立構想当初より公運審メンバーの参画、市民参加による協議を重ね NPO 法人化による運営に至るまでの道程

主体は市民であり「つどい」「学び」「つながる」を結びつける地域の拠点としての公民館、結果として「地域の居場所」作りが出来上がっていくことになる。市の職員は支援し、助言し、全体の調整を行う立場。

最後に 添付写真は小川元気村「あすぴあ」事務所内に常設されている「交流スペース」（机、いす、周囲を囲う衝立）の机に置かれている書物など です。

花小金井駅北側にあるスーパーいなげやの2階に10個程度椅子だけが離れておかれたスペースがあり、常時孤独に本などを読んでいる方々がおられます。公民館ロビーを活用した居場所「おしゃべりサロン・交流スペース」をテストする絶好の機会かも知れません。

